

令和3年(2021年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：香里ヌヴェール学院高等学校

協定締結日：2021年12月1日

活動状況：継続中

連携先窓口：香里ヌヴェール学院高等学校 学校長 池田靖章先生

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：上田 智久(産学官・地域連携センター)

活動体制(単位)：大学

関連教員(所属)：

活動目的：プロジェクト型研修の実施を通じた高校教育の質的向上

活動内容・成果：

1. 「プロジェクト研修プログラム」に向けての打ち合わせを実施

7月29日～8月2日に予定している、プロジェクト研修プログラムの打合せを実施した。

打ち合わせ場所：香里ヌヴェール学院高等学校 校長室

日時：2022年3月19日 10:00～12:00

：2022年3月28日 10:00～12:00

：2022年4月28日 10:00～12:00

なお、「プロジェクト研修プログラム」は2022年7月29日～8月2日を予定している。内容は以下の通り。

高大連携教育プログラム(予定)

香里ヌヴェール学院高等学校と連携によるプロジェクト型研修(4泊5日)

プログラム目標：〇〇〇〇の街あばしりの〇〇を提案する

網走市：「おいしい街あばしり」

プロジェクト型研修では、網走の魅力を体感する中で、プログラム目標を達成していく。具体的には、グループ編成後(7名)に以下の3課題より一つを選択させ、現地調査実施後、

オホーツク・キャンパスにおいて最終報告会を行う。最も優秀なグループ（生徒）には、「網走市ジュニア観光大使」を任命し、大阪にて網走の魅力を発信する。

*参加者全員にはプロジェクト型研修（オホーツク探究プログラム）の修了証を授与（農大を予定）

*以下の3課題の視点より、〇〇の街を発信する

「オホーツク海（なぜオホーツク海は資源の宝庫であるのか?）」

「環境保全型農林漁業（持続可能な農林漁業の在り方とは?）」

「地域資源を活かした商品開発（こと、ものを活かしてどのような商品開発が考えられるか?）」

参加者： 生徒 49 名+教員

参加高校（予定）

香里ヌヴェール学院高等学校

追手門学院高校

大手前高校

四条畷高校

灘高校

常翔高校

募集を6月末締切（49名）

7月29日（金）： 移動+交流会

【移動スケジュール】※移動は貸し切りバス

関西空港→（peach）→女満別空港（11：20着）→オホーツクバザール（昼食）→ベーシック（朝食など）→てんとらんどオートキャンプ場（泊）

●交流会（16：30～19：30）

農大生と高校生による交流会

*農大生の紹介を兼ねて

*研修プログラムの確認

7月30日（土）： プロジェクト型研修

30日の課題：カテゴリーごとに分かれてフィールド調査

【移動スケジュール】※移動は貸し切りバス

てんとらんどオートキャンプ場→グループ毎に網走市内の関係機関、施設などを視察調査
→てんとらんどオートキャンプ場（泊）

オホーツク海：網走漁協→網走市水産化学センター→網走水産試験場

環境保全：網走漁協→営農集団 26（酪農と農業）→網走地区森林組合（バイオマス）

地域資源：観光連盟（マリンツーリズム）→ココファーム よこやま果樹園 菅野養蜂場（グリーンツーリズム）・コネクトリップ→網走番屋（牛渡）

●グループワーク（夜）

グループごとに実施

* 高校教員と農大生がグループワークをサポート

7月31日（日）：プロジェクト型研修

: OC 参加 + 中間報告会

31日の課題：OCに参加（課題達成に向けたヒントを探る）+ 中間報告会

プログラム目標：3課題より〇〇〇〇の街あばしりの〇〇を提案する

: ①OCに参加

②中間報告（オホーツク・キャンパス）* 会場の手配と準備（自然資源経営学科）

* 報告会には各学科より参加（希望）

③企画案のブラッシュアップ

【移動スケジュール】 ※移動は貸し切りバス

てんとらんどオートキャンプ場→農大→てんとらんどオートキャンプ場（泊）

●OC参加（午前）

●中間報告会&追加視察調査（午後）

→

●グループワーク（夜）

グループごとに実施する。

* グループワークを農大生がサポートする

課題・改善点：実施・受入れ体制の確立が必要となる。